

【逗子市】

ネットワーク整備計画

1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

「校内通信ネットワーク環境整備等に関する調査」（文部科学省・令和5年11月実施）より、市内小中学校からローカルブレイクアウトしているネットワークの速度の確保について「学校のネットワーク改善ガイドブック」（文部科学省・令和6年4月）に示される当面の推奨帯域の充足状況は以下の通りである。

対象学校	推奨帯域（Download）	調査結果
逗子市立逗子小学校	607Mbps	99Mbps
逗子市立沼間小学校	525Mbps	151Mbps
逗子市立久木小学校	566Mbps	185Mbps
逗子市立小坪小学校	468Mbps	53Mbps
逗子市立池子小学校	422Mbps	196Mbps
逗子市立逗子中学校	453Mbps	197Mbps
逗子市立久木中学校	525Mbps	196Mbps
逗子市立沼間中学校	395Mbps	78Mbps

- (1) 必要なネットワーク速度が確保できている学校数 0校
- (2) 総学校数に占める割合（％） 0％

2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

（1）ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

令和6年9月～10月に、各校の管理職・ICT担当者・小中学校各学年代表者1名を対象に、ネットワークのユーザー体感調査を実施した。調査の結果、「インターネット通信が遅いと感じることがある」と回答した教員は64.4％と半数を超えていることがわかった。具体的にネットワークが遅くなる利用場面としては、「体育館やグラウンド」「同時接続の際」という意見が多く、使用できる場所の制約や、集中した時間帯において弊害があり、学習活動におけるネットワークの課題があることがわかった。また、「児童生徒から通信が遅いと言われることはありますか」という問いに対しても、過半数の51.1％の教員が「ある」と回答しており、具体的な場面に「同時接続や使用クラスが多い場合」を挙げている。

ユーザー体感調査の結果及び、「校内通信ネットワーク環境整備等に関する調査」の実施について（依頼）」（文部科学省・令和5年11月実施）を受けて実施した測定結果に基づき、令和8年6月までに、市内の学校を対象に詳細なネットワークアセスメントを実施し、課題の特定を完了させる。

(2) ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

令和8年6月から順次改善策の検討を開始し、令和8年9月までに対象校における課題策を解決させる。

(3) ネットワークアセスメントの実施等により、既に解決すべき課題が明らかになっている場合には、当該課題の解決の方法と実施スケジュール

ユーザー体感調査より、「同時接続や使用クラスが多い場合」においてネットワークが遅くなるという声が多数挙がっている。このことから、令和8年9月までに、同時接続に耐えられるネットワークへの増強を完了させることを検討する。ネットワーク増強の具体的な方法については、令和8年6月までに実施を完了させるネットワークアセスメントの結果をもとに検討する。